



会報●第5号

北陽高等学校

同窓新聞

1984.6.17 発行

編集発行

会報委員会

委員長

藤井 文太郎



(母校体育館)

母校の現況

生徒急増2年目の今年、本校では受験者2,629名の中から632名が入学、生徒総数は1,729名となりました。この大世帯を秩序ある集団にまとめ、質的に向上させて行くには、何よりも全教員の一一致した指導力が不可欠であり、その基本は師弟同行の実践でなければなりません。そこで、今年も入学式の翌日から2泊3日の合宿研修を行ないました。最近のこととは、豊かさと過保護のせいか、わがままで甘えが多く、自立心に欠ける傾向が顕著です。この欠点を自覚させ、自分で判断し、生きる力を育成しなければ、真の向上は期待できません。この視点から、自律心の涵養を主眼に北陽の教育を推進しています。

今春の卒業生480名のうち、大学等に進学した者227名、就職者204名、浪人49名となっています。進学に関しては、過年度卒を含めると234名、進学先も昨年に比して関西大5、関学大3、立命館大2、岩手医大1が目立ちます。就職面でも、求人減の厳しい現状の中で、何とか全員就職ができました。しかしながら、試験は毎年難しくなっており、その対応策として、現在2年から文・理系クラス、3年で進路コース別の選択制を導入して、指導強化に当っています。

環境整備については、クラブ部室新築に続いて、体育館改修とグラウンドの改良をいたしました。体育館については、全館防音サッシに取り替え、1階は模様がえして、トレーニング室2を主体にし、食堂、合宿室、剣道場も面目を一新しました。またグラウンド全面に排水管を埋設して水はけをよくする改良工事も完了し、これらによって体育指導の実も挙がると期待しています。

最後に、クラブ活動。運動部では、水泳、アイスホッケー部が全国大会に出場しましたが、府予選の決勝で涙をのんだサッカー部をはじめ、どの部も後一步のところで壁につき当っている感じです。しかし、毎日きびしい練習に耐え、精進していますので、その努力は必ず報われるであろうと期待されます。また、文化部でも、吹奏楽部が大阪府のコンクールで銀賞を獲得する等、多彩な活動を展開しています。

(筆者は母校林敏夫校長)

あと1年で母校は満60才!!

感慨新たに同窓の声

北陽同窓「商一会(仮称)」のその後

昭4年卒 西田 秀吉

どんな顔かなー

こんな顔かなー

あんな顔かなー 懐しい!!

アルバムを見つめて、懐しい顔を思い浮べているグループが、1泊同窓会を5月下旬~6月上旬に有馬方面で計画中。

それは大正14年3月許可、大正15年3月、下新庄で開校し、60年を迎えるとしている私達の母校、北陽商業学校の第1回卒業生達であります。

思いますと母校も時の流れに逆らわず、何度も脱皮し、時代に順応し、60年の輝かしい歴史を築いて参りました。

その校歴の第1頁を飾る商業学校第1本科の第1回卒業生85名も現在17名が健在で居る事が、同窓会名簿発刊に際して、同窓の松村豊君の献身的な調査に依り判明したのであります。

言葉と歴史

昭13年卒 水利 寛文

昔より私達はよく話す言葉に十年一昔という言葉がありますが、近年はその著しい変化のために、5、6年も経てばびっくりする程、世の中は変わっているのに気付きます。そしてこの言葉の恐いことは情報となって日本全国を瞬時に駆け廻る今日この頃です。

言葉は流れ飛び広がって情報となり国民を一喜一憂させばかりでなく、時には暴力となり、更には革命となり一国の運命を左右することもあります。

歴史の中に生れた言葉の役割(情報収集)の占める重要性は図り知れないものがあります。

反面言葉が世相を反映していることを見落すことの出来ない事実です。40才以上の人々はまだ記憶に新しい、ヤミ市、ヤミ取引の言葉は今

この半世紀の積る話しを!! 思い出を!! 語り合い、今後の母校の隆盛と校友の交流を誓いたく、取敢えず判明の17名で第1回1泊同窓会を計画中であります。

母校の新校舎の玄関横の智徳体の標石を見る度に初代糸島実太郎校長の建学の精神が今も尚脈々と伝承されている事に深く肝銘を受けるのであります。

私達は73才になりましたが、こんな素晴らしい北陽の校舎で青春の1頁を築いた事を誇りに思って居ります。

必ずや1泊同窓会にはこの素晴らしい思い出がよみ返る事と今から胸をときめかして居ります。

亦その一夜の語り草は御報告致します。

校友の皆さん、左記判明校友の外に御心当りの方を御存知の時は左記へ御連絡願います。

松村豊 西宮市甲子園4番町7-10

判明校友

宇野実 菅野安太郎 高山強 東本嘉一郎 中尾喜一 西田秀吉 藤田忠男 梶原清 八田敏雄 岩永清治 千原勇 中井熱 中田永一 藤田武雄 松村豊 北福寿一 川口勝

も使われており、朝鮮動乱や近くはオイルショック等の言葉は仲々消えそうもありません。タケノコ生活、新円、三種の神器(これは家、車、婆抜きといわれた)更には傾斜産業、3等重役、オイルショック後は窓際族、糸ヘン、金ヘンと次から次へ時代の変遷につれて歴史は新しい言葉を創り出し生れては消え、消えては生れる新語を言葉として一部を残し消え去り、繰返されて目まぐるしい世相を反映しながら一方では日本人の懐い郷愁となって思出を温めてくれております。

歌特に流行歌はその見本でしょう。特に近時は金融界のキャッシュレス時代を反映して悲劇の言葉としてサラ金苦があります。毎日のテレビニュースを賑わしサラ金苦の故に家出、自殺一家心中等悲惨な代名詞となっています。これも歴史の中の言葉の一つでしょう。エレクトロニクスの発展は時代を変え、核廃絶へそのキャンペーンはようやく世界を包み、世界の人々が平和

への武器として歴史の1頁を飾る日も近いでしょう。ともあれテレビから言葉を学ぶ時代に入りました。

私の母校

昭25年卒 杉本 庄七

昭和19年3月、北陽工業学校入学試験のため、校門をくぐりました。各地小学校卒業の生徒が、各自の決意を胸に秘め、校庭に整列しました。母の不安な姿が、瞳に浮びます。受験風景は、今も変わらないものです。

私は、戦時中のため、商業学校が、工業学校に変り、中味は、工員補助員として、学校オーナー会社である関西スピンドルで働きました。当時、航空機の部品製造の会社と聞いていましたが、13才位の子供の製造する部品で、はたして優秀な飛行機ができたかどうか、今から思えば、恐ろしくなります。おそらく不良品が多く、成果があがらなかったと思います。部品製造の優劣より、現場で支給された、乾バナナの味が、末だに忘れられません。大変おいしいものでした。

もう一つ忘れられないのは、女学校から動員

ったとは言えないでしょうか。恒久平和こそ世界人類の願いでもあります。

されていた、きれいな女の子でした。近づくこともできませんでしたが、美しい人が多く、出会いが楽しみがありました。

戦後、北陽商業学校に戻り、正常教育が行なわれましたが、物資欠乏のため、又米軍占領下のため、幾多の制約のなかで、再建北陽を目指し、校長以下全員が張りきっていました。私は、戦後最初の野球部員でした。いつも1回戦で敗けてばかりでした。弱いチームの捕手が、私の青春のすべてでした。

昭和24年、新制高校の発足を向けて、多くの友達は、北陽商業学校5年を卒業して、実社会にはばたきましたが、30人あまりの友人と、北陽高校へ進学しました。

ここで、初めて、勉強しなければならないという自覚を持ちました。現校長林先生との哲学論議が私を刺激しました。ツフェーノンの法則についてあります。

昭和25年、無事、北陽高校第1期生として卒業し、同年4月、関西大学法学部に入学できました。我が母なる北陽高校の充実発展を祈りながら拙文をおわります。

ことはないかと考え、休講があれば授業を操り上げてもらい、下校時間を早くするというんでもない事を企てました。しかしこの試みも長くは続かなかったが、感謝されたらしく、3年まで務めました。でも楽しいことばかりではなく痛い思いをしたこともあります。今度問題を起せば停学になるというN君が他校生と喧嘩になり、仲裁に入って殴られたこともあります。彼も今は社会人として大成していると聞いています。でも、私に「北陽」との出会いをより深めたのは映研に入ったことだと思います。

当時、大変きびしい校風（三雲校長の「丸ぼうず宣言」）の中、私は文化祭にある企画を立てました。我々の手で映写するという初めての試み

旅は仕事の潤滑油

ひとりひとりを大切に旅のことなら

大阪市東淀川区菅原6丁目11番3号

北港ツーリスト

代表者 福島嘉雄 (S26年卒)

電話 (06) 329-1517 329-4416

清酒・醸造元

高級純日本酒 大阪府茨木市玉櫛1-1-8

万両酒造株式会社

社長 藤井文太郎

(旧名信雄)

(S14年卒)

みを許可されたのが、顧問で生活指導の吉川先生でした。「寒い朝」という作品を取り上げ主人公のキスシーンの場面で生徒が一斉に靴を鳴らすという事件が起きたのです。私は心ならずもこのさきやかな抵抗に喜びを感じたものです。当然、中止されたのはいうまでもありません。今の北陽生には考えられないでしょう。

又所属団体の会長も務めていて「チャリティ映画鑑賞会」をサンケイホールで開催しようとしたが高校生には貸せないという壁にぶつかりましたが全責任を持つという曾根先生の計らい

母校から得たもの

昭59年卒 西国 太

北陽高校に入学し、そして、卒業するまでの3年間、実に多くの事を学び、貴重な経験をしました。

ご存じの通り北陽高校は私学です。それも男子校です。ですから、公立高校では困難な事でも、わが校では何事にも思いきってできました。思いきってやったなどというと、現在ではとかく悪い方にとられがちで、校内暴力だと、授業放棄だとを連想されますが、その類のものではありません。理由もなく大人に反抗してみたり、意地を張っていたりした者が、餘々に子供のからを破り、大人に成長してゆきました。いや、あるいは、毎日毎日、本音のいい合える仲間や、理解ある先生方の環境の中で、純真に

で大成功を納めることができました。この活動が新聞に取り上げられたことが、今も忘れられない思い出の一つになっています。

このように私の高校生活は充実した期間で、「北陽」は私にとって青春そのものだったといえるでしょう。現在、私は石油販売会社で人事の仕事をして「北陽」との関係は続いている。

人事責任者として一人歩きできるようになつたのも金沢勇先生との出会いだと感謝しています。

今後も様々な出会いを大切に私と「北陽」は続いていると思います。

なつていったというべきなのかもしれません。他人の陰口を言ったり、いつまでも一つの事を悔やんでいる様な事をせず、お互に心の奥底で思っている事を意見し合い、ぶつかりあつたりして、共に相手がわかりあえるようになります。時には、意見のすれ違いによる激しいぶつかり合いもありましたが、一度それでぶつかり合うと、相手がかなり深く見れます。いや、「見える」のではなく、「観える」というべきでしょうか。うわべ・外見だけを「見る」のではなく、「こいつの意見も一理ある。」と問題意識をもつて「見る」。そして、己の心の中でも、自分自身を客観的に「観る」事ができる。そんな目が養なわれたような気がします。

よく「竹を割った様な性格」という言葉を耳にします。北陽高校の校風はちょうどそんな様な、さっぱりした、男らしい、さわやかな、人間性を育ててくれた様な気がします。

事務局だより

前任の佐藤誠一先輩のあとに、私森田昭治(商業17回卒)が4月より当同窓会事務局に配属されました。佐藤先輩より話は色々聞いては居りましたが、全く始めての仕事で、何を、どうすればいいのやら、教室の中とは勝手が違いますので戸惑っています。幸い昨年度の事務局員2人佐藤先輩と角野義明同窓にそのまま本年も残ってもらいましたので、その協力を得て我が同窓会発展の為に役立つ様努力したいと存じます。我が北陽同窓会会員各位の御協力、御鞭撻の程宜敷御願い申し上げます。

尚佐藤先輩には会員名簿と同窓会会報発行の件を引き続き担当してもらっていますので、御承知置き下さい。

会員各位の御健康と御活躍を祈りつつ、就任の御挨拶にかえさせて頂きます。

会員名簿まだお求めでない方に

今のところ「名簿」に若干の残部がございますので、ご入用の方は同窓会本部までお申し込み下さい。送料共3,500円

尚、より完全な名簿を作成すべく目下作業を続けていますので、その後の変更等がございましたら是非本部までお知らせ下さい。印刷の手違いで、とんでもない御迷惑をかけたり失礼になってしまった事も多々ある事と存じますが、その点は悪しからず御容赦下さい様御願い申し上げます。

“60周年史”発行について

我が母校もいよいよ来年開校60周年を迎えます。それを記念して母校は『60周年史』発行を

計画し、その準備を着々と進めています。つきましては、その発行についての御意見や参考資料を御貸し願いたく御協力をお願い致します。

開校当時の資料、写真、雑誌、パンフレット、卒業証書、運動会パンフレット、運動会の記録、それに又査問の記録、写真等色々我が母校60年の歴史を物語る資料や記録、昭和始めに旧本校校舎が田んぼのまん中に建っていた時代に、夜下校時に田んぼの畦で蛇にかまれたとの話も聞いています。かかる体験記、思い出話等、よろしく。

会報協力金についての御願い(1口2,000円)

会報7,000部発送するとしまして発送費単価70円計49万円が必要なのです。それは会報の印刷費より高くついてる現状です。この現状を御理解の上御協力下さいます様、切に宜敷御願い申し上げます。御協力下さいました会員諸兄には厚く御礼申し上げます。

昭和59年2月卒業で代議員にお願いした方々は次の12名の方々です。

西国太、公文健一、矢島宏保、領家一明、佐々木健三、太田晃、渡辺一郎、西村弘、志方俊也、岡田義基、山田佳弘、大沢豊

「会報」の原稿お待ちしています。

同窓情報

荒賀正太郎先生を囲んで

—昭34年3Cの集い—

喜寿と御夫妻の金婚式を祝う集い

雪に悩まされた今年もやっと春の息吹が感ぜられ、花だよりも聞かれる4月8日、第11回卒業生(昭和35年度)3年C組、荒賀学級で表記の集いをなつかしき母校同窓会室を借りて行う。

あの円型校舎に馳染んだ我々にとって、スマートで美しい外観と、清掃の行き届いた校内を見学、昔日の感あり。

先生の挨拶につづき、一人、一人が24年間の

空白を埋めるかのようにスピーチを行い、卒業以来の人生模様を語る。予定の時間では、とても足りず、千里石亭へ場所を移し旧交を暖めた。

荒賀先生御夫妻のお人柄ともあいまって、つきことなく思い出話に花が咲き時間のたつのを忘れ、ひとときを過しました。

学校施設をお世話いただいた金沢勇先生、休みであるにも拘わらずわざわざお出かけ下さった佐藤先生、誌上を借りてお札を申しあげます。

(塩田 修三)

(出席者 橋本、井上、黒田、牧野、天野、森本、杉原、山崎、北野、永森、松井、野田、土肥、北川、生島、浜元、出原、田辺、塩田)



—石亭にて 記念の集い—



網元玄関前

茨木市役所北陽会

親睦旅行記

この冬が、これ程までに厳しくなるとは予想もしなかった昨年秋に企画して、山陰鳥取砂丘の民宿「網元」へ行くことにしました。日程は2月4日(土)～5日(日)の1泊2日です。

当日は天候にも恵まれ比較的おだやかな昼下りに我々はレンタバスに乗りこみ、中国道吹田インターより一路目的地「鳥取砂丘」に向いました。レンタバスの運転はベテラン小川清仁会員(S30卒)にまかせ、我々はそろそろ缶ビールタイム! 冬の山陰は初めての者や、毎年のように名産「松葉ガニ」をもとめて出かける食通などがあり、総勢16名、気心知れた者同士のベースが上ってきました。

佐用インターで中国道と別れ約50km北へ、智頭町あたりからバスは雪深い山手にさしかかってきました。見わたす限りの銀世界です。屋根の上の雪が優に1mはありそうな大雪です。

そうこうして目的地の「鳥取砂丘」へ着いた

のは5時頃でした。まず今回のもうひとつの目的である会則に基づく58年度北陽会総会を開き、本年度の報告及び決議事項がなされました。そして引続き夕食です。膳の上は所せましとカニが並べられ「鍋あり」「カニみそ」あり「焼ガニ」あり、カニカニのカニづくし! やがて幹事長の「今宵の無礼講」が告げられ、旅の疲れをいやす乾杯の酒がここちよくノドに落ちていきます。やはりカニの味が本場は、ひと味違います。

そしてこの日は、夜の更けるのを忘れて、酒をくみかわし、語り合い、誰ともなく校歌を歌いはじめ、最後は全員で合唱しました。

良き味、良き旅、良き友――

バンザイ!

会長	仲川 義一 (S34卒)
幹事	井上 靖彦 (S41卒)
	石田 重昭 (S44卒)
	宮本 徹 (S41卒)

兵庫県会議員

加 茂 勉
(S20年卒)

〒666 川西市中央町11-15
電話 (0727) 59-8890

吹田市会議員

杉 本 庄 七
(S25年卒)

〒564 吹田市垂水町1-57-37
電話 (06) 384-8016

北陽60周年記念誌が 発行されます!!

～資料提供にご協力を！～

北陽同窓会長 稲野治兵衛
北陽高等学校長 林 敏夫

わが北陽は来年で60周年を迎えます。これを記念して60年史を発行することになり、学校では既に編集委員会が発足、内容の充実した史誌をめざしています。

大正14年から60年、北陽の歴史を正確にたどりうとする時、先ず困惑するのは資料の不足であります。戦中、戦後の激動期に古い資料の多くが散逸し、僅かに残存するものだけでは到底立派な史誌はつくれません。そこで北陽に関係のある方々にお願いして、できるだけ多くの資料を集めたいのです。

特に同窓の皆様、お手許に次のような資料がございましたら、是非暫らくご貸与賜わります

ようお願い申しあげます。

1. 年誌“北陽”1～6号、12、13号
 2. 卒業アルバム 1937、1939、1942～1950
 3. 北陽新聞や学校に関する記事、写真
 4. 旧制商業初期、工業時代の卒業証書
 5. 賞状、辞令等参考資料となりうるもの
- また、北陽時代の思い出なども奮ってご投稿願えれば幸甚です。

なお、旧職員の方々にも創立以来の詳しいお話を伺うこととし、先ず今月は八沢、安封、秋山、現仁科の先生方と座談会をもつ予定です。

何卒母校60周年史誌がよきものとなりますよう格別のご協力をお願いする次第です。

同窓名簿が縁となり、旧交復活

昭20年卒 加茂 勉氏への便り

謹賀新年 希望にもえる84年（昭和59年）の春がやってきました。加茂さん、私をお判りですか？ 和田、北陽で終戦の年卒業してちりぢりに別れて行った一人です。戦中のため卒業の喜びをお互いわかつことなく淋しく離別した私達です。私は幸い今まで生き伸び去年から同窓の皆様と文通を始めました。同窓名簿では住所が判っている方達が34名。勿論、私は消息不明者の末尾にのっていました。朝鮮戦争中、友の住所録を失って永い永いご無沙汰を致しました。（武田一郎さん、豊田春海さんの連絡により皆様の住所が判りました）貴方は県議員として政治に関与しているとのこと慶賀に堪えません。私は教育にたづさわっています。なに

しろ日本語、日本文とはえんを切って39年ですから文脈表現が思う様になりませんが思い切って同窓の一人一人に書信を認めている次第でもう10人以上返事をもらっています。1月7日にはソウルで三宅利喜男さん、藤井義賢さんと再会することになっています。39年目に同窓と再会する感激に満ちています。加茂さん、今后の御活躍と健康が何時何時までも傍にある様、神様にお祈り致します。

左様奈良

1984. 12. 30

朝国 和田こと
魏日 奉

加茂大兄

同窓会ゴルフ開催さる！

去る2月28日(火)、箕面ゴルフ倶楽部において、始めてゴルフ大会を行いました。

当日は、稻野会長・阪本副会長を始め、有志12名の参加により、雪の散らつく中、先輩後輩、和気合々、熱闘を口に、昔話に花を咲かせながら順にスタート。

ラウンド終了後、今後の方針を検討。「北陽会ゴルフコンペ」として、年2～3回を目標に約束し、解散。

連絡先 同窓会事務局 又は、寺田賢作（昭42年卒） 06-381-2401迄



第15回生同窓会

7月16日、第8回同窓会を開催を致しました。母校同窓会本部事務局より同窓会副会長の藤井文太郎氏（藤井章雄君の兄上）が母校OB代表で参加され、安富政雄先生（在学中の担任）を聞んで、懐しい腕白時代を語り合い、楽しい一日を過ぎました。

（当日出席者 津田、石崎、庄田、伊沢、白山、清水、安田、辻勝、佐伯、姫島、山田、榎田、竹林、横井、門前、野本、鳥山、菱谷、蒲地、田中博、岩崎、中条、北秋、浜本、榎野、麻島、藤井、札場、笠松、田中安）（順序不同）

（記事・会長 北秋一）

会報協力費納付者氏名

市川郁夫、北村秀一、樹野勇、奥村安太郎、奥村健、寺田賢作、中田寅次郎、南村幸平、藤原隆敏、松尾直友、野本英明、三原秀明、池田勇二、堺昭男、三甲野桂一、間井谷賢次、徳田真也、上田仁一、森本啓朗、宮澤吉男、荒木道幸、河野秀雄、三好慶一、山崎文雄、横間隆治、西村典也、塙見克明、内田正、原武士、須藤聰、山本真一、塙谷半一、浜川均、見市弘行、宮口孝司、竹内勇、鈴木利夫、稻野治兵衛、井沢友吉、上野紀三郎、森井井俊一、牧野雅男、松田政夫、正木良彦、三ヶ山孝一、笠井市雄、高垣哲雄、内海昭、鶴川權治、西川雅敏、橋本勝、橋本俊也、松宮賢治、持田嘉雄、小西満、久保健治、石丸満、仲健三郎、成海進、大西寿一、生川鎮栄、倉田秋夫、山内保典、中川好司、川田俊正、井筒喜一郎、森川敬忠、羽山明人、角本重郎、庄田精宏、川島成雄、平紙喜久雄、山野恵、南本浩志、北本亨、西田秀吉、五味一夫、左海茂、横間誠也、畔内貞吉、雨宮昭雄、北中

啓治、山田清、味舌十七、子守安信、桔梗谷昌弘、荒西好一、塙田修三、見矢康利、前田隆志、今村恒男、北田義一、中尾和生、西垣友夫、高橋聰、蒲地一嘉、井沢秀雄、稻垣仁、原静夫、梅田芳明、岡田彰布、浜口洋、田中義信、青山実、林清太郎、松波俊二、岡田正人、新居勝文、下良利雄、益田徳彦、橋本幸司、川井武夫、尾関日月、尾崎利夫、金子敏幸、大前敏朗、後藤伸宣、田林軍治

野田長博、梶尾勝好、松野明、増田直幸、山崎欣治郎、河野泰明、川田栄正、川口泰二、西半誠一、富室幹之助、福田同、河本博、川島登起男、北浦弘、北克美、北風敏彦、木村不二雄、北田秋幸、川端正次、栗柄治、北二郎、子守安信、龜田真守、木下弥三郎、金井克純、木村義夫、畔内貞吉、餘家芳夫、東桜義隆、川壁健治郎、鈴木善治、住永年孝、下田忠雄、島田甚一、新宮邦夫、鈴木利夫、塙谷半一、柴田敏一、鈴木祐昭、須藤聰、北窓久男、三浦啓爾、村田茂、村尾清道、福原功、林国隆、平紙喜久雄、林利信、藤井常夫、藤田忠男、本田彰、林彦一、細見政治、堀佳夫、福島頼夫、畑一、藤木栄次、

私の趣味

昭10年卒 濑川 三郎

私の模型SLの趣味は在校中にスタートした。同窓会会长・稻野君とは同級でした。「朱に交われば紅くなる」そのような諺は彼には通用しないリードオフマンで清湯あわせのむ豊かな心のもち主だった。そんな彼とは対照的に私の趣味が昂じていった。年毎に成績はさがり、卒業時には席次は中を割ってしまった。これが私の相場だと、たいして氣にもせず卒業した春の5月に、全国科学模型コンクールに出品、夢にも思わなかった1等に幸運な入選をしていらい、模型工作の記事をかくのも趣味になっていましたが、風雲怪やしくなり、応召、敗戦そして戦後へと時は移りかわり、わずかな経験を基に臆面もなく系巻機械の製造を始め、定年の頃になり国鉄の電化やディーゼル化がすすみSLがなくなつてゆく声に30数年のあいだ、忘れるともなく忘れていた模型の病いが再発、遺物と化してゆくSL、私はSLの文字はある程しくエネルギッシュな姿に似つかわしくないと思えるので、少し頑固だが、蒸機または汽車と呼ばせてもらう。一昨年の夏休みに渡辺先生の引率で鉄研クラブ研修旅行に生徒と共に丹後山田駅から加悦駅まで約7糸の民営加悦鉄道を見学、動かない

玉井国男、竹中伊作、多田幸次、豊田猛義、高橋巖、高井敏行、田中重雄、篠田武次、高岡鑑、武田清、上砂龍夫、奥田昭三、上浦弘、伊藤博、大智英夫、荻野清、真砂洋輔、吉村節雄、佐野良晴、中西条太郎、西口嘉彦、西垣友夫、田村章一、西山三男、永田要之助、中島勉、西村貞彦、西川昭夫、田口清一、徳本幸治、中西武三、西村一男、西川修、中井譽、永野翼、高谷文雄、畠豊治郎、高木種夫、日上泰光、林時也、藤川孝夫、浜元孜、久井隆治、細見辰男、東野久記、前田光男、水谷政和、松田昌幸、前田省一、森井俊一、川口重夫、森田悦夫、西森昭義、田林軍治、田中徳光、濱田康雄、落合政太郎、大西義三郎、犬飼兵一、岡野弘、井上明、上田謙、上田仁一、岡柳二、小川賢治、岡田直三、浅田行雄、伊闇嘉則、岡田英治、一色義三、和田菊博、和久通正、渡辺祐司、渡辺重信、坂本嘉孝、山田勝彦、大江満男、浮田嘉彦、乗上繁一、道林充弘、土本一夫、寺西克美、辻井武平、豊田徳男、高島清助、竜田洋、辻勝、鶴岡実、高田正明、松尾清、戸田伸介、高橋匡房、高林晴雄、高橋勲、柄尾修一、田宮久一、谷戸博雄、津田義雄、坂本宏造、田村利昭、斎藤一郎、土井正



蒸機4台が雨ざらしで保存されていた。そのような老練の姿がさびしかった。若狭北陽海の家で1泊して帰阪、制作中の汽車が私を待っているように思えた。1機造るのに2、3年かかる。ある人が2千時間と計算した人がいました。夜の更けるのも忘れ1個の部品ができ、水割りを手に目をほそめながらひとり悦にひたっている頃はもう空が白らんでいるのも1度や2度でない。昨年夏の終り頃から、ディズニーランドで走っている汽車で西部劇から抜けでてきたような古典スタイルを制作中、運転する醍醐味は格別、石炭の匂い、煙で汚れ、時折ちらりと洩れる紅蓮の炎をみながら10数人の子供をのせ、汽笛も高らかにシュボシュボと力強く走っているときこそ私の天国です。すべて施設や小学校などの業事に奉仕で参加して、少しでも人々のためになっている私の趣味は、元気で年を忘れ、生き甲斐と伴せをよろこんでいます。

男、張忠義、新島広治、横関隆治、芳仲重一、神吉武一、入川猛、柳原恒郎、浜田三次、藤本時男、松本鉄太郎、山崎勝己、咲舌十七、橋本通、筒井一雄、弥田智温、神矢稀由、加賀山晃、竹本寛治、新井敏男、大町稔、東尾長治郎、岡本敏雄、泉谷定治、岡本喜一、植田正雄、稻垣文雄、池田彰、池田誠、石井孝一、明石新治、大西勝、岡田浩三、内田充寛、井沢秀二、池田一夫、川崎英彦、喜多秀一、川田俊正、神田公徳、清野徹、小山武、内山克巳、柳瀬正三郎、山田四一郎、吉田勇、山本寛二、吉田健、山本隆一、山本博史、吉野幹雄、良原文藏、山川芳夫、山崎勝也、山本嘉三、山本正夫、養老美雄、弓削金次郎、峰順一郎、水上政雄、宮口孝司、宮野孝雄、三木憲三、松井広可、増野一郎、又木誠司、持田嘉雄、百崎和男、宮腰光夫、松本巖、南垣純明、松本正、松本清、坂下忠男、石原一郎、吉田正信、柳栄喜祐、吉田斗成、佐野義晴、坂本幸秀、佐々木清、城島未明、瀬部明、佐近宏、坂本守、柴田章平、藤村峰夫、橘屋秀夫、藤川重義、福田要之助、西山充光、中川茂夫、網盛精造

以上

母校クラブだより

バレー部

顧問 / 横田道正・亀田正則先生

大阪、男子のバレー部は現在商大附と清風の2強時代であり、それを追って第3グループに位置される所で、本校バレー部は頑張っております。近畿大会は去年も出場しましたが全国大会にはまだ出場していない現状です。何とか全国大会出場をと部員一同の頑張りとOBの協力のととその夢の実現に向って邁進しております。

水泳部

顧問 / 萩原 肇・石坂喜一先生

我々、水泳部は、インターハイ、近畿大会、全国J、オリンピック、日本室内選手権に出場しており、今では大阪だけでなく、全国に北陽の名をあげるようになっています。シーズンオフでは筋力トレーニングを中心とした体力作り、それが終わるとスイミングスクールに通い、シーズンのために毎日厳しい練習にはげみ、そして短いシーズンのために強化練習という厳しいプログラムを組み、それに対応すべき体力、根性、精神力を養うため日々がんばっています。

軟式庭球部

顧問 / 岩内日出男・山田均先生

テニス部は、過去に大変輝やかしい成績をおさめました。昨年はインターハイ予選で優勝、準優勝、3位と独占し、商業大会では3位、他の大会でも大健闘しました。

テニスコートは、昨年本校の体育館横から正面に移り、コートもアンツーカーコートと設備がよく、部員は、目標インターハイ出場に向かって、きびしい練習にがんばっています。

釣り部

顧問 / 松下昇司・松岡正喜先生

釣り部は、現在9名の部員で毎月1回の例会を行なっています。それに年1回の釣り合宿も行なっています。この合宿は夏休みを利用して3~4泊の釣行を行っています。一昨年までは遠く宮崎までいました。しかし昨年から近いところへということで淡路島へ行きました。テトラの穴釣りでチヌを3枚、グレ、ガシラなど

ど思いもよらぬ釣果をあげて帰ってきました。日常の例会も神戸、明石の一文字などで投げ釣りを中心に楽しんでいます。

アイスホッケー部

顧問 / 金沢 洋・藤川敬三先生

アイス・ホッケー部は大阪大会に3年連続優勝し、国体へは8年連続出場しています。

昨年は西日本大会も優勝しました。クラブは桜ノ宮スケートリンクをホームリンクとし、部室もこのリンクにあります。

練習はスケーティングは週3回、用具をつけての練習は月2回あります。今年は苦小牧出身のコーチがつき、いっそう充実したクラブ活動が出来ます。

史跡研研部

顧問 / 菊池博信・田中章介先生

19年という長い歴史のある、文化部唯一のクラブです。部員は小人数ですが、頑張っております。私達のクラブは高校生として、歴史的視野を広げることを目的として主に、夏の合宿、そして日常は大阪、奈良近郊の古代の遺跡を見学踏査し、夏の合宿では信州、山陰、九州、四国などの日頃見学のできない遺跡の踏査を行い、その資料をもとにして秋の文化祭展示を行っています。

吹奏学部

顧問 / 手嶋正雄・山口はやと先生

年2回の定期演奏会と吹奏楽祭、吹奏楽コンクール、アンサンブル、コンテスト等への参加などです。音楽を通じ、多くの友を作ることができ、人間関係を豊かにし、学校内では体育祭の入場行進、文化祭などの学校行事には欠かせないクラブです。

陸上部

6月26日(日)午後2時より、昭和58年度陸上競技部OB会が本校会議室にて開催されました。(参加22名)OB会員の増加に伴う、役員数増を主な議題に、今後のOB会のあり方についても活発な討議がなされました。総会終了後、席を変えて懇談会を行ない、OB会の益々の発展を誓いました。(H)

故糸島校長を偲ぶ

私が奉職したのは大正15年4月、退職は昭和24年3月、その間数々の思い出はあるが今の私を人間にして下されたのは今は亡き糸島先生である。就任の際、次のように倫被された。

「僕の教育方針は人間関係に留意し健康で社会に貢献する责任感のある人材を育成することにしている。従って校章も「文は人なり」というが、商も人だからペンにより知・徳・体を象徴し、校訓として「人の和」「隠徳を積め」の標語の基に入づくりをしたい。」

君は新参だから教育関係書を読み、体験を通して検討し僕の方針に従って指導してもらいたい。」と

先生は既に北陽設立前、天王寺区に「自強学院」、豊津に「千里山女学院」を経営し青年指導に当つておられた。私は出講した。

北陽が長柄から前校舎地に移った当時の周辺は葭蒲の生い茂る田甫だった。運動場も軍事教練が実施されることもあって先生の友人生島氏から神崎川沿いの田、三千数百坪を借入れ整地

された、当時の御苦労は大変だったと思う。

学科指導では体操に「タンブリング」や歌謡(丘を越えて等)振付させて情操教育、又、自らも撮影して、映画(生物の実態・鉄材製造行程等)による視聴覚教育を。或は教室・廊下を改修して模擬実践。校外教室として会社・工場等の見学と併せて商店と契約して実際の商取引に生徒を立合わす等、体験を通しての指導に意を注がれた。

尚、自らも教育は禅を通してだといつて豊津から嵯峨天龍寺の向側に移転され、禅道に打込まれた、私も時々招かれ訪問し時には桂川で鮎を漁つたこともあった。

先生と懇談したのは野球部が初めて甲子園出場の時で、それが最後だった。まだまだ述べたいことは山程あるが紙面の都合、ホンの一駒を無断に托し割愛させていただく。

最後に一言。亡き糸島先生の教訓を心にあらゆる機会を自己教育の場として残生を過ごしている私は、まさに60周年を迎えるとしている北陽高校が益々の隆盛発展と同窓の方々の發奮と健斗を祈念して止まない次第である。

(筆者は元母校校長 八沢眞好)

同窓会会則

第1章 総 則

第1条 (名称) 本会は北陽同窓会と称する。

第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することをもって目的とする。

第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

1.会報及び会員名簿の発行

2.総会の開催

3.母校の発展に寄与する事業

4.その他必要な事項

第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等学校同窓会室におく。支部は必要な地域又は職場に設けることができる。本部に事務局を置き本会の事務を処理する。

第2章 会 員

第5条 本会の会員は次の通りとする。

1.正会員(在北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校的卒業生)

(1)上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者

2.特別会員、母校の現職員並びに旧職員

3.名誉会員、母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会で承認を得た者

第3章 役員及び役員会

第6条 1.本会に次の役員を置く

(1)名誉会長1名(母校の現校長)

(2)会長1名

(3)副会長3名以内

(4)会計2名

(5)監事2名

(6)事務局長1名 事務局次長2名

(7)理事若干名

(8)代議員若干名

(9)顧問、相談役若干名

2.役員の任期は3年とする。

但し再任を妨げない。

第7条 1.会長は代議員会に於いて選出される。

2.その他の役員は会長これを委嘱する。

第8条 (任務) 1.会長は会務を総括する。但し緊急必要案件が生じ代議員会を召集するいとまなき時は理事会の議を経て会長これを先決する事ができる。

2.副会長は会長を補佐しその代理を務める。

3.会計は会の財務を処理する。

4.事務局長は本部事務局を組織し、会長の指示を受け、会にに関する事務全般を処理する。

5.理事会は会務を執行し会の運営上別に内規を定める。

6.代議員会は次の事項を審議する。

(1)事業計画及び予算の承認

(2)事業報告及び決算の承認

7.理事会及び代議員会の議事は出席者の過半数をもって決し可否同数の場合は議長これを決する。

8.監事は会計を監査する。

第4章 会 計

第9条 本会の経費は会費寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。

第11条 (会費) 本会の正会員は会費を分担するものとする。

第5章 総 会

第12条 総会は会長これを召集し代議員会をもってこれに代える事ができる。

第6章 支 部

第13条 本会は支部を設ける事ができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にしなければならない。

第7章 会則変更

第14条 会則の変更をしようとする時は、会長は理事会の議を経て総会の承認を得るものとする。

第8章 附 則

第15条 その他定めなき事項は会長が理事会にはかり、これを決定する。

第16条 本会則は昭和54年9月22日よりこれを施行する。

<p>北陽同窓会会长 稻野治兵衛 (S 10年卒) 電話 (06) 872-3131</p>	<p>不動産全般 西田不動産 代表者 西田秀吉 (S 4年卒) 電話 (0720) 58-3590</p>
<p>川口重夫 (S 25年卒) 電話 (06) 322-4561</p>	<p>浜木辰巳 (S 17年卒) 電話 (06) 322-0414</p>
<p>瀬川三郎 (S 10年卒) 〒570 大阪府守口市浜町2丁目2 電話 (06) 991-2569</p>	<p>輸入洋酒専門 株式会社 トサ屋 牧野商店 牧野雅男 (S 13年卒) 大阪市南区阪町27番地 電話 (06) 211-6967</p>
<p>民間車検工場 三菱自動車販売特約店 各種自動車販売修理 株式会社 塩山自動車商会 (淡路電話局前) 専務取締役 塩山信夫 (S 26年卒) 〒533 大阪市東淀川区上新庄2丁目1番7号 電話 (06) 328-2587・4134・5111</p>	<p>岩本栄一 (S 28年卒) 電話 (06) 386-3456</p>
<p>各種自動車販売・整備・钣金・ 塗装・検査受各種ローン取扱 町出俊昭 (S 36年卒) 電話 (06) 328-8529</p>	<p>塗装工事請負※看板製作一式 見積無料 大阪府知事許可(般-55) 第 56974 号 近畿郵政局・吹田市指定業者 寺田美研 (S 42年卒) 吹田市高浜町4番7号 電話 (06) 381-2401</p>